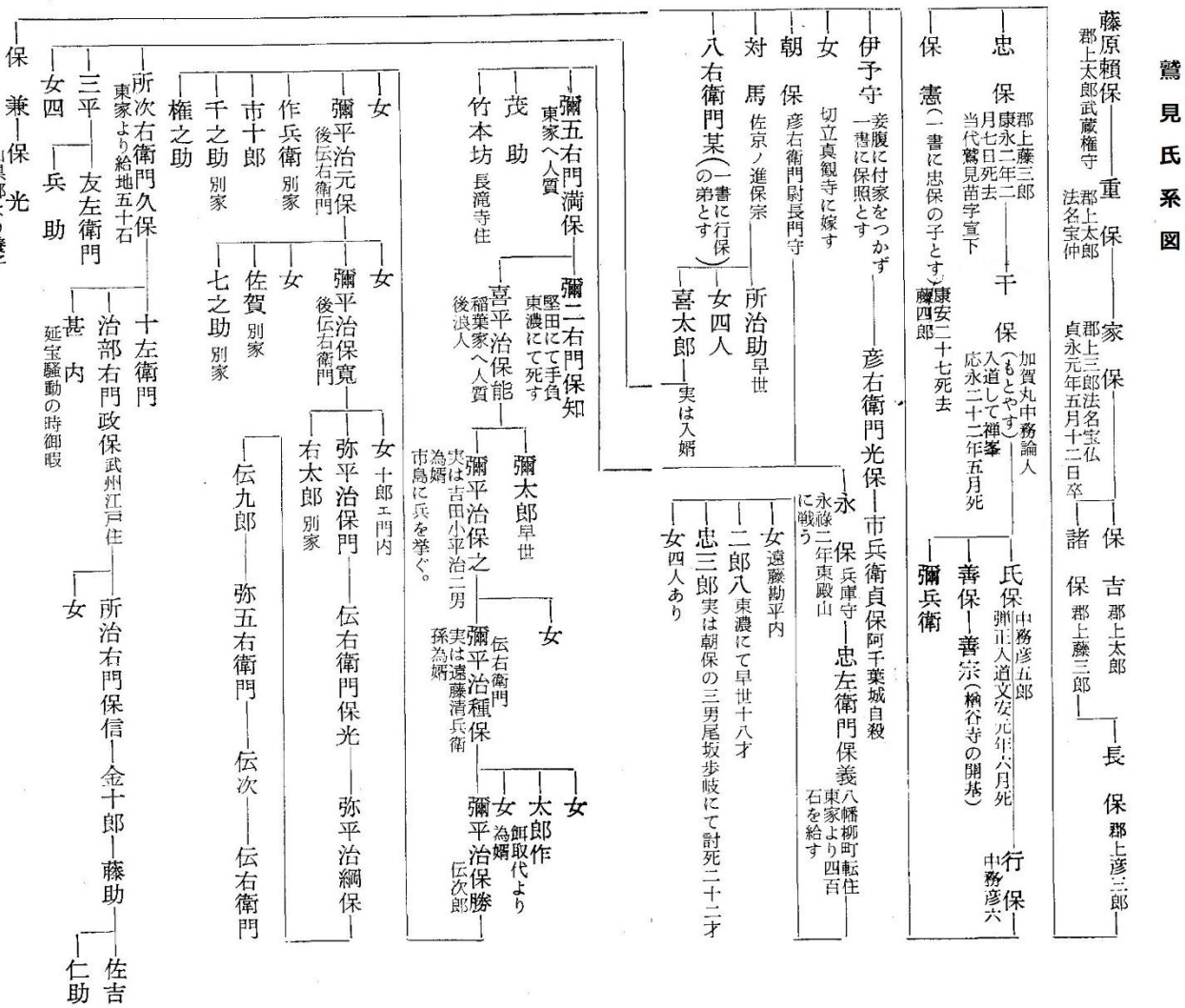
高鷲村史の鷲見氏系図

この系図の特徴は、
四代目が諸保になっている。
郡上が中心で北野の保重が書いてない。

伝衛門文書の系図は「喜平治保能」ではなく、「弥平治保能」である。伝衛門家には「伝々九つ弥は八つ」と伝わっている。

鷲見大鑑には朝保（彦右衛門）のことが中心に書いてあるが、鷲見家史蹟の系図には朝保は出てこない。

保憲の死去の年号がおかしい。
康安二年十月七日死去か
喜太郎は長龍寺竹本坊の男で対馬の養子となった。



（主として鷲見伝右衛門文書及び鷲見大鑑による）